

令和元年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	議会事務局の運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	1	1	1	
政策	41計画の実現のために	担当課室	議会事務局			
施策	412効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	佐藤 太郎			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	議会運営を円滑に進めるとともに、議会活動等の透明性を確保するため、効果的な事業の展開を図っていく。	③令和元年度に取り組む改革・改善内容	議員改選及び通年議会導入に伴う一連の事務を円滑に実施する。また、議会活動等の透明性を確保するため、効果的な事業の展開を図っていく。
②①に基づく取り組み結果	議会運営を円滑に進めるために、通年議会に係る条例等の整備を行った。また、政務活動費に係る領収書等のHP公開を実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民、市議会議員	意図(対象をどうするのか)	憲法で保障された議決機関である議会の円滑な運営を行う。
②事務事業の概要	憲法で保障された議決機関である議会の円滑な運営を行うため、その事務を所掌する議会事務局の運営に関する経費。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	地方分権の進捗に伴い、議会活動の透明性の確保と内容の周知と併せて、新たな政策提案が求められている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成30年度の事業の成果	適切な事業計画に基づき費用対効果に十分配慮したうえで、遅延することなく事業を実施することができた。						
②成果を表す指標	指標名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	算定根拠	
	i	傍聴者数	460	375	337	人	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成29年度決算	平成30年度決算	平成30年度決算(事業費)の主な内訳		令和元年度予算		
事業費(千円)	24,995	23,913	金額(千円)	内容	30,005		
国支出金(千円)			4,917	会議録反訳委託			
県支出金(千円)			1,443	議会中継システム			
市債その他(千円)			1,224	議会だより折込委			
一般財源(千円)	24,995	23,913	2,177	映像設備・音響設	30,005		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	地方分権がより一層進む状況の中で、今後とも議会活動等の透明性の確保、内容を広く周知すること及び新たな政策提案を求められている。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	より効率的かつ効果的な議会運営の実現に向け、引き続き改善等の検討を行うため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成30年度の計画	平成30年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H29からの繰越
		H29⇒30繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由		流用・充当			
		令和元年度への繰越額(単位:千円)			